

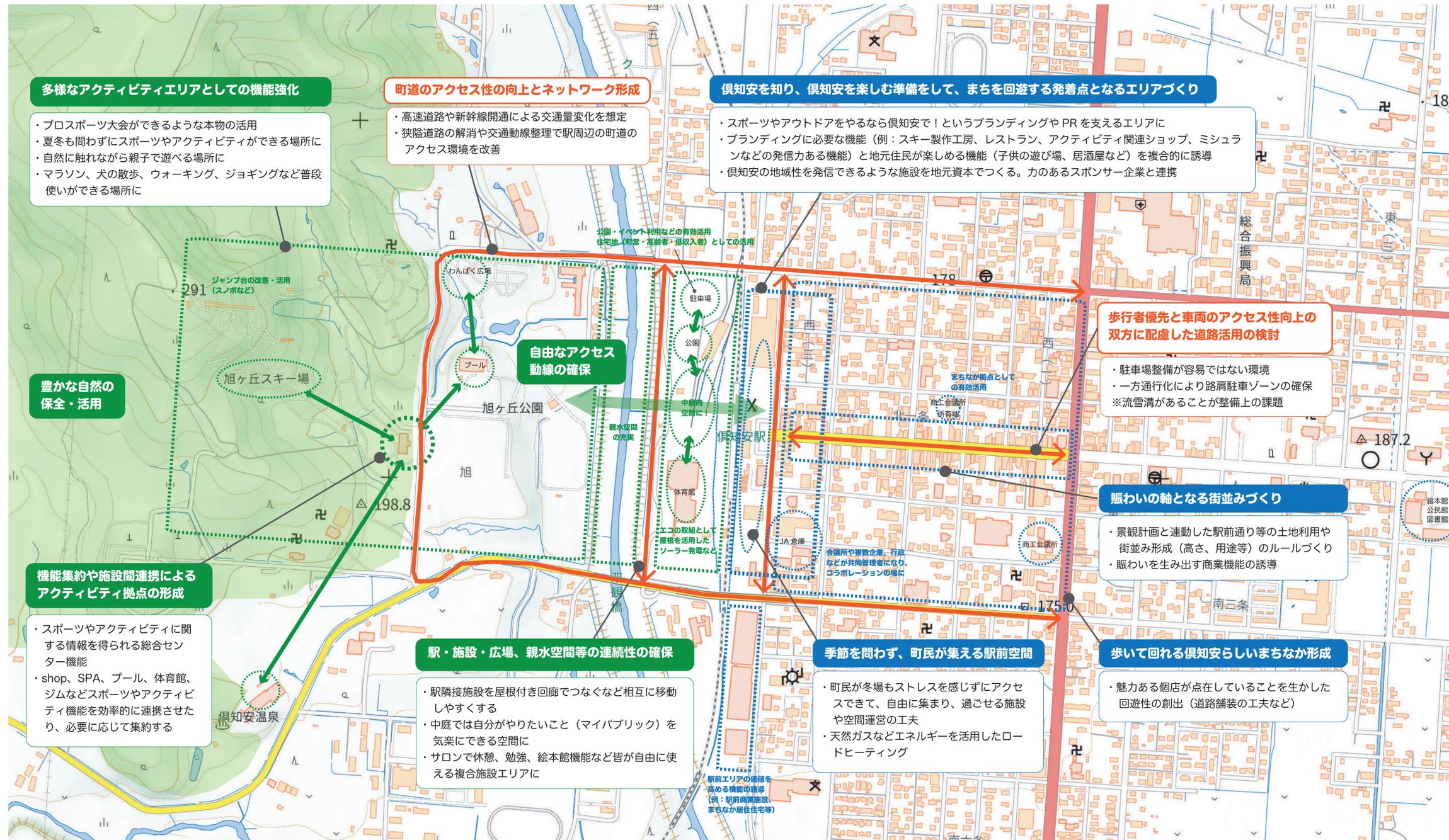
倶知安駅周辺エリアのまちづくりイメージ (たたき台)

【倶知安駅西側】スポーツ・アクティビティ・憩い

- 子供から大人、初心者からプロまで多様なスポーツ・アクティビティを楽しめるエリアへ
- 何か用事がなくても、町民が一人でも家族づれでもふらっと訪れて憩えるエリアへ
- ▶倶知安町が核となりエリアの再生へ。まち会社が運営支援

【倶知安駅東側】既存施設・遊休地等の有効活用・賑わい

- 既存施設や有効に使われていない遊休地等を有効活用するエリアへ
- 既存の魅力を活用しながら、歩いて回れて楽しく、便利な生活を支える賑わいづくりへ
- ▶民間が核となりエリアの再生へ。まち会社が官民連携や民間開発をコントロール・マネジメント支援へ



多様なアクティビティエリアとしての機能強化

- ・プロスポーツ大会ができるような本物の活用
- ・夏冬も問わずにスポーツやアクティビティができる場所に
- ・自然に触れながら親子で遊べる場所に
- ・マラソン、犬の散歩、ウォーキング、ジョギングなど普段使いができる場所に

町道のアクセス性の向上とネットワーク形成

- ・高速道路や新幹線開通による交通量変化を想定
- ・狭隘道路の解消や交通動線整理で駅周辺の町道のアクセス環境を改善

倶知安を知り、倶知安を楽しむ準備をして、まちを回遊する発着点となるエリアづくり

- ・スポーツやアウトドアをやるなら倶知安で！というブランディングやPRを支えるエリアに
- ・ブランディングに必要な機能（例：スキー製作工房、レストラン、アクティビティ関連ショップ、ミシュランなどの発信力ある機能）と地元住民が楽しめる機能（子供の遊び場、居酒屋など）を複合的に誘導
- ・倶知安の地域性を発信できるような施設を地元資本でつくる。力のあるスポンサー企業と連携

豊かな自然の保全・活用

旭ヶ丘公園
旭ヶ丘スキー場

自由なアクセス動線の確保

公園
体育館

機能集約や施設間連携によるアクティビティ拠点の形成

- ・スポーツやアクティビティに関する情報を得られる総合センター機能
- ・shop、SPA、プール、体育館、ジムなどスポーツやアクティビティ機能を効率的に連携させたり、必要に応じて集約する

駅・施設・広場、親水空間等の連続性の確保

- ・駅隣接施設を屋根付き回廊でつなぐなど相互に移動しやすくする
- ・中庭では自分がやりたいこと（マイパブリック）を気楽にできる空間に
- ・サロンで休憩、勉強、絵本館機能などが自由に使える複合施設エリアに

季節を問わず、町民が集える駅前空間

- ・町民が冬場もストレスを感じずにアクセスできて、自由に集まり、過ごせる施設や空間運営の工夫
- ・天然ガスなどエネルギーを活用したロードヒーティング

歩行者優先と車両のアクセス性向上の双方に配慮した道路活用の検討

- ・駐車場整備が容易ではない環境
- ・一方通行化により路肩駐車ゾーンの確保
- ※流雪溝があることが整備上の課題

賑わいの軸となる街並みづくり

- ・景観計画と連動した駅前通り等の土地利用や街並み形成（高さ、用途等）のルールづくり
- ・賑わいを生み出す商業機能の誘導

歩いて回れる倶知安らしいまちなか形成

- ・魅力ある個店が点在していることを生かした回遊性の創出（道路舗装の工夫など）

既存の公共施設の利活用の検討

- ・老朽化した公共施設の修繕、集約、再配置など、利活用の視点で検討する
- ・「絵本館」など、魅力的な機能は、地域会館・駅前通り、駅周辺施設などへ分散する
- ・子どもの遊び場を充実させる

公共交通機関の有効活用によるまちへの外出・回遊機会の充実

- ・じゃがりん号をもっと気軽に利用できるようにする
- ・じゃがりん号が、子どもの遊び場や主要な施設を回る

学生・若者がまちづくりに参加したくなる機会づくり

- ・小中高生が、自分たちが住みたいまちを自分たちで考えるような機会をつくる
- ・まち会社にとって重要な役割になる